

南の方から桜便りも伝わる今日この頃、吹く風も柔らかな季節となりました。
皆様、いかがおすごしでしょうか。

このお手紙を書いている4月7日現在、岩手は寒の戻りもあり、県内の桜はまだ固い^{つぼみ}のままですが、東京は満開らしく、10日頃に、仙台が満開と予報がでています。着々と迫る桜前線の北上をこころ待ちしているところです。



今年の「大お花見会」は4月16日に開催します。メインの出し物は、旧南部藩で盛んだった宝生流の能楽です。世界的にも活躍されている能楽師の金野泰大先生と神楽師加藤俊彦先生がまた来てくださいます。誕生会にお呼びしてあまりに素晴らしかったので、その時にお願いしてしまいました。今年の合言葉も『今が一番楽しい』です。

「枯木に花を咲かせましょう～」と、日本昔話の花咲かじいさんでも言っているように、桜は枝に花が咲いてから、次に葉が出てきます。枯木のように見えるところから見事に花ひらく、というのが桜です。何にもないところに花が咲くからこそ日本人は、この桜を愛でるお花見に魅かれ、誰の胸にも、ふるさとの桜だったり、思い出の地の桜であったり、記憶の中に咲いている不思議な花のような気がします。

そのうえ、加賀野の森の庭の桜は樹齢400年。20mほどの高さがあり、まさしく雲桜。天を仰いでいます。江戸時代からこの地に^{そび}えて、何を見てきたでしょう。

16日は、例年通りお茶会も開催しますので、優雅な春にふさわしい一日、ぜひ皆様ご参加くださいますよう。お楽しみにお待ちください。

さて4月の請求書を同封いたします。ご不明な点は総務までお問合せください。もうすぐ春爛漫の季節がきます、健やかなる日々をお過ごしください。

令和7年4月7日 総施設長 神原美智子

おめでたい「猩々」



創作能「巖手山」

4/16のお花見会の演目がわかったらすぐお知らせします。

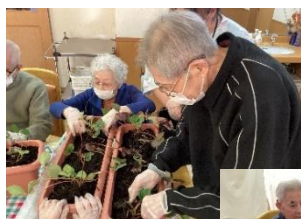


加賀野の雲桜。5階建てのうしろの建物と同じ高さです。



▲去年は、花咲爺さんもお殿様も登場しました。

3月の行事より



皆で、イチゴの苗を植えました。

▶ デイサービスの「おやつレク」は大好評！



▶ お誕生会はお寿司が人気です

